

【香美市】 校務DX計画

1. 現状と課題

本市における校務の情報化の現状について、GIGAスクール構想によるICT環境の整備は進んでいるものの、校務におけるICTの活用は発展途上の段階といえます。また、GIGA・校務DXチェックリストの結果では昨年度より大幅に改善しているものの、市内10小中学校中、データをクラウド上で共有しているとの設問で強肯定とした学校は3校にとどまっていますこれは、校務におけるクラウド活用の余地が大きいことを示唆しています。

2. 目標

本市における校務DXの推進により、以下の目標達成を目指します。

- **教職員の負担軽減と業務効率化:**「ICTを利用した業務改善」を通じて、校務に関する時間外労働を削減し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保します。
- **情報共有と連携の促進:**クラウドの活用を基盤とした情報共有体制を構築し、教職員間、学校間、教育委員会との連携を強化します。
- **ペーパーレス化の推進:**会議資料や各種書類のデジタル化を進め、印刷・配布にかかるコストと時間を削減します。
- **データに基づいた学校運営の実現:**教育活動や校務に関するデータを効果的に収集・分析し、根拠に基づいた意思決定を支援します。

3. 具体的な取組

上記の目標を達成するために、以下の取組を段階的に実施します。

令和7年度

- **デジタル週案システム(日程・時数管理システム)の全小中学校への運用と普及:**令和6年度時点で5校が使用しているデジタル週案システムについて、全小中学校での本格運用を開始します。
- **クラウドを利用した会議の本格実施:**前年度の試行結果を踏まえ、クラウドを利用した会議を原則とします。
- **ロイロノート・winbirdの活用促進:**ロイロノート及びwinbirdの校務への活用方法を研究し、教職員への研修を実施します。
- **生成AIのプロンプト作成:**市の研究指定校にプロンプト作成のソフトを導入し、校務のスリム化につなげる研究をすすめます。

令和8年度以降

- **デジタル週案システムの定着:**「日程、時数管理の定着」を図り、教職員の業務効率化を推進します。
- **クラウドを利用した会議の定着:**クラウドを利用した会議をより効果的に運用するためのルールやガイドラインを整備します。
- **FAXでのやり取り・押印の原則廃止:**FAXでのやり取りと押印を原則として廃止するための具体的な方策を実行します。
- **校務支援システムへの名簿等情報の不必要な手入力作業の一掃:**情報連携の強化やAPIの活用等により、手入力作業を極力削減します。
- **クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進:**クラウドベースの校務ツールやアプリケーションの導入・活用を積極的に推進します。

4. 推進体制

本計画の推進にあたっては、教育委員会内に市教委推進チームを設けGIGAスクール事業検証委員会及びアドバイザリーボード(有識者)との連携を図ります。また、各学校には情報教育担当者を配置し、教育委員会との情報共有や校内での取組推進を図ります。

5. その他

本計画の進捗状況については、年2回行う働き方改革検討委員会で取組の成果を報告し、定期的に検証を行うとともに見直しをすすめます。